

# 東日本大震災における自家発電設備のメンテナンス不良による不始動・停止台数

(一般社団法人日本内燃力発電設備協会発行「東日本大震災における自家発電設備調査報告書」より)

1975年～震災までに東北・関東地方に設置された防災用自家発電設備は70,303台。そのうち震度6強以上の地域に設置された4,811台が調査対象。

総計	4,811台
----	--------

不始動・停止	233台
--------	------

発電機に起因する 不始動・停止	77台
--------------------	-----

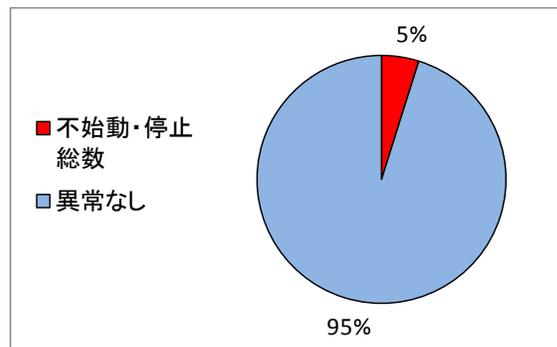
メンテナンス不良による 不始動・停止	23台
-----------------------	-----

不始動・停止総数	233
異常なし	4578

不始動	17
異常停止	60
燃料切れ	125
津波による停止	24
不明	7

故障※	3
メンテナンス不良	7
断水※	1
燃料系統異常※	1
他設備の異常※	1
操作ミス	1
不明	3

従前からの故障修理前	5
バッテリー放電等	2

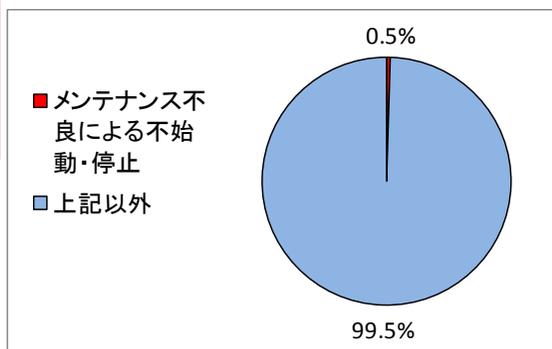


故障※	12
メンテナンス不良	16
他設備の異常※	6
操作ミス	4
断水※	9
潤滑油系統異常※	3
燃料系統異常※	3
その他	7

燃料フィルタ目詰まり	6
流量計目詰まり	1
逆流防止ダンパー故障	2
排気弁の膠着	1
内部経年劣化	1
バッテリー放電	1
エア混入	1
その他	3

※は地震動に伴う故障・異常

総計	4,811台
メンテナンス不良による 不始動・停止	23
上記以外	4788



※メンテナンス不良により不始動・停止した自家発電設備(23台)について、未燃燃料が蓄積することにより不始動・停止したものはない。